広報
かわち
館民公村内河所
次彦田崎龍所
所人集刷所
発行編印

農業振興特別指導村としての指定を受けて

河内村長　青野隆一郎

この度、河内村は全国農業会議所、市町村、農業振興特別指導実施要領によりまして、次城県の農業会ギ所より、農業振興特別指導村という事に指定を受けたので御ございます。農業振興計画の樹立、及びこれが実施の推進にあたりまして、積極的に必要なる措置をとうじて、農業の自立、自営の経営確立を、図るという事になったのでございます。

この農業振興特別指導実施要領によりますと、指導の目的の確立に努める必要があるのでございます。

農業会ギの直接の指導と致し進協議会を結成して、一般農家、及び関係機関団体の意志の結集をはかって、河内村農業振興計画を樹立し、計画的な、農業振興の推進をする事になるのでございます。これが計画の樹立、実施推進にあたりましては、必要な、調査の実施、各種協ギ会、又は講習会を開催し、総合且つ、一元的態勢の整備並に、方針の

拠出制国民年金
反対の諸論点について

（三十四年十月から恩給もこれに切り替えられた）の場合六六〇円、船員保険の場合四二〇円と、いずれも本制度の数倍の保険料を負担しているのである。

従がって、現在の生活水準からみて、一〇〇円、一五〇円という額は、一般的には決して無理なものでないということができよう。しかもこの保険料は、それでもなおかつ納められないというほど生活に困っている人に対しては、大巾に免除する（国では、これに該当する者として、全体の約三割程度を見込んでいるのであって、この様な年金制度においては、保険料の免除を考える国一律に定めるということが巾に保険料の免除を予想している例もないのである。

◉保険料の月一〇〇円、一五〇円は高すぎる

本制度においては、保険料の二分の一という高率を国庫が負担するなど、社会保障制度には類のない措置をとっているのであるが、本法に定められた月額二、〇〇〇円という額は、一般的には決して無理なものでないということができよう。しかもこの保険料は、それでもなおかつ納められないというほど生活に困っている人に対しては、大巾に免除する（国では、これに該当する者として、全体の約三割程度を見込んでいるのであって、この様な年金制度においては、保険料の免除を考える場合、例えば一万五千円の月給の人を例にすると、各人負担が厚生金保険の場合二六二円、国家公務員共済組合

ましては、村に研究協ギ会の開催をするとか、わが河内村の農業振興計画の樹立、実施に当って、その基礎となる事項の調査に関し、専門員と調査員との派遣をしていただきまして、これが関係者の完全なる了解と協力のもとに、基礎調査の実施を行うというような事と、それから又、農家の講習会を実施するとか、その他振興の基準に必要なる事業指導を行うという事になっておるのでございます。

これが為に、河内村農業振興推進協ギ会を結成致しまして農業振興の重点事項を決定して、農業振興計画の樹立、実施、推進を一元的強力に遂行するものであります。

これが為に、その組織は、村及び議会、農業委員会、農業協同組合、土地改良区、それに各種、青年、婦人の団体等又結成されたばかりの河内村産業振興会をもって、組織する事になるのであります。大体上のような形で、農業振興計画を樹立しまして、この県南地域の一つのモデルケースと致しまして今後発展して行く性質をもっておるのでございます。

これが為に、推進協ギ会の下に、各種の専門部会を設置致しまして、研究結果を聞く事ができたのであります。それによりますと、所謂博士は、

◉深耕、多肥、密植栽培について

深耕、最近、東京農工大学の近藤博士のもとに参りまして、多収穫の栽培法を実地に見せていただき、又、説明を聞いて、参ったのであります。

近藤博士の試作致しました、その田の中にたった他の普通栽培とともに比較検討して、いろいろ、研究結果を聞く事ができたのであります。それによりますと、所謂博士は、深耕、多肥、密植栽培の研究をしたのでございます。大体この方法は、既に、秋田、山形の一部の地区の農家においては実際に自分の責任と負担において行っているそうでございます。その話によりますと同博士は、いわゆる、一尺五寸の深さにたがやして、一反肥を反当二千五百貫、これをニースと致しまして今後発展して行く性質をもっておるのでございます。

これが為に、河内村農業振興推進協ギ会の開催をするとか、わが河内村の農業振興計画の樹立、実施に当って、その基礎となる事項の調査に関し、専門員と調査員との派遣をしていただきまして、これが関係者の完全なる了解と協力のもとに、基礎調査の実施を行うというような事と、それから又、農家の講習会を実施するとか、その他振興の基準に必要なる事業指導を行うという事になっておるのでございます。

これが為に、河内村農業振興推進協ギ会を結成致しまして農業振興の重点事項を決定して、農業振興計画の樹立、実施、推進を一元的強力に遂行するものであります。

これが為に、その組織は、村及び議会、農業委員会、農業協同組合、土地改良区、それに各種、青年、婦人の団体等又結成されたばかりの河内村産業振興会をもって、組織する事になるのであります。大体上のような形で、農業振興計画を樹立しまして、この県南地域の一つのモデルケースと致しまして今後発展して行く性質をもっておるのでございます。

◉深耕、多肥、密植栽培について

深耕、最近、東京農工大学の近藤博士のもとに参りまして、多収穫の栽培法を実地に見せていただき、又、説明を聞いて、参ったのであります。

近藤博士の試作致しました、その田の中にたった他の普通栽培とともに比較検討して、いろいろ、研究結果を聞く事ができたのであります。それによりますと、所謂博士は、深耕、多肥、密植栽培の研究をしたのでございます。大体この方法は、既に、秋田、山形の一部の地区の農家においては実際に自分の責任と負担において行っているそうでございます。その話によりますと同博士は、いわゆる、一尺五寸の深さにたがやして、一反肥を反当二千五百貫、これを三回乃至四回に分けて、うない込んでおりまして、植えるのには、一株七本植えで、二百四十株をうね幅三〇センチ間隔に植えております。これによって予想収穫は五百三斗位という事を聞いたのでございます。ちょう度そのすぐわきに、普通栽培方式の、稲がありまして、どうして、われわれは今まで、密植法をやらなかったのかと却ってあやしむ位に思われたのでございます。

将来、この密植、深耕、多肥栽培というのが一般に普及していきますと、米は益々生産が伸びし、しかも食生活の変化にともない、米の需要が減ってくるという事になります。

そこで、必然的に作付け制限とか、減反という事になります。

そうして、我々の村が将来の農業経営をどうすべきかという事について、この農業振興特別指導村として、指定を受けました事は将来の我々のこの地域の為に又、われわれの村の発展の為に非常に幸であると考えるものでございます。どうか今後のいろいろな調査、研究或は協ギ会或は打合せと

最後の仕上げを急ぐ
東部（金江津地区）水道

金江津地区水道も完工を目前にひかえ、役場係員、施行会社一丸となって最後の仕上げに努力致しております。

即ち機場設備も電気工事を残すのみとなり、これが終れば早速本管通水が出来る事になります。尚流末工事は目下、十三間戸を終了し、平川地区を工事中で、全域通水は、今しばらくというところです。

加入分担金については

いろいろの取り沙汰が今迄に来ているようでございますが、当初の説明通り絶対に相違あませんから重て了承お願い致します。

旅の空に思う

高松圭吉

随分御無沙汰しています。

七月に入ると農林業基本問題調査の為に全国各地を廻って来ました。

七月半ばを過ぎて私は九州宮崎県の山中に入りました。

途中米どころに対し積立金総額に利子をつけて還付するとは、年金財政上不可能であるとして、本来社会保障制度というものは、最少必要とされる者に重点的に給付を厚くするということであるから、この方向で考えるべき性質のものである。

しかしながら、年金意識の向上していない現状においては保険料の負担を嫌う素朴な国民感情を考慮して、一定年数保険料を納めた被保険者が死亡した場合には遺族に死亡一時金を支給する制度を是非とも制設したい目下法律改正を準備中である。

は二〇才で加入した場合の計算であって、さらに高年令で加入した人の場合には年金受給率は高くなるので、当然にかけ捨てとなる人も少くなってくる。これを他の医療保険や厚生年金保険等と比較するならばかけ捨ての割合も極めて低いことが常識的にも納得できるのである。

途中死亡者に対し積立金総額に利子をつけて還付するとは、年金財政上不可能であるとして、本来社会保障制度というものは、最少必要とされる者に重点的に給付を厚くするということであるから、この方向で考えるべき性質のものである。

しかしながら、年金意識の向上していない現状においては保険料の負担を嫌う素朴な国民感情を考慮して、一定年数保険料を納めた被保険者が死亡した場合には遺族に死亡一時金を支給する制度を是非とも制設したい目下法律改正を準備中である。

料免除措置の大巾な採用とこれに対する年金受給機会の拡大、福祉年金の高令者に対する広汎な経過措置を通じて高所得者と低所得者間並びに世代間の所得再配分機能が生かされているということができる。

◉保険料のかけ捨てが多すぎる、途中で死亡した場合は、積立金総額に利子をつけて還付すべきである

年金財政の計算においては子五七人女子六人が老令年金を受け、その他母子、障害遺児、寡婦の年金を受けることを考えると、男子八一人、女子八二人がなんらかの年金を受けることになる。したがって、かけ捨てと騒がれるのは残りの一八・九人ということになる。しかし、この数字

印刷所　河内活版印刷所

鳥取県青年の国内研修生來村

青年の国内研修は、近頃各県で行われている事業で、本県も昨年度より実施し、相当な実績をあげている。今回来県した研修生は、鳥取県青年三十一名（女子六名）で、農業班七名、畜産班七名農生班十一名、生活班六名という編成である。このうち河内村に派遣されたのは、農業班と畜産班の十四名で、長竿、源清田の二地区の各農家に十一日から十六日までの六日間の日程で宿泊し研修が行われたのでありますす研修態度は実に真けんで、日中は季節労務者なみに働き、夜は各人の研究課題に基く勉強がなされた。処で、環境の違った、河内村における六日間の生活体験から、この村をどのように彼等の眼にうつったか卒直にその感想を聞いて見ました。

河内雑感

鳥取県社会教育主事　妹尾篤次

社会教育を行うもの、にとって日曜を忘れる事は通例だと自他共に半ば諦めもし、半ば誇らかにも想ったりしてはいますが、さて実際にツブレた日曜は、何時も忙しい気のするものです。その日曜に、まるでおしかけ女房のように御邪魔しまして、五日間公私共御多忙のなかを親身の御世話をいただきました事、大変うれしくおもっております。

卒直に、見たまゝ感じたまゝを記述することこそ、御厚意を素直にうけて、それに謝意を表する態度ではないかと考へますので書きました、ものの或は、失礼なことのはしばしがありましたら、以下の文面、没にして下さい。

おそらく村長の御話しにもありました通り、当村をみるときに、大利根の歴史と現在の施策をしらずしては、非常なあやまりを犯すのではないかと危惧するものです。

才一私達の地方とは、全々異った広漠たる水田のひろがりからして、小手先の奇麗ごとでは間に合わぬ農法の習性が、当地の地域性全般を大らかなものへと習慣づけたではないでしょうか。田の中にニヨツキリ立ったヒエ、雑草が盛大にはびこった畑地。単作地帯の解消は土地改良をまってから、との悠久の構え。

私達の地方で寸土を争う農民がみたら垂涎ものです。

私がおもいますのは、コセコセしないとか大らかであるとかのニアンスではないということでして、農に徹するのか徹しないのかが問題だとおもいます。

引きつれて参りました青年の一人が交流座談会の席で、「溝を引けば裏作もできるのに……」と、ポソリ発言もしました。

又、大利根の治水ができたのは近代のことであって、政治、経済の前近代的であった何時頃かの昔しから、洪水の期待と、これ亦諦めの習性がはっきりとこの地方の民性へと培かわれたのではないでしょうか。住み家の狭小は、私達の地方の比ではありませんいつ流されるか知れない豪壮な家屋は、或は馬鹿げた浪費であったのかもしれません。

私は農業のことは、あまりくわしくありませんので、社会教育のことですが、東京を指呼の間に位置する当村も、「お江戸へ三百里」といわれた私の地方も、今はマス、コミのメデイアを通じて、それ程の距離感はない筈です。

河内村が中央の洗礼に浴して進み、鳥取県が草深く取りのこされる、そういった態の時代ではないはずです。東京からの遠近は最早や今では問題ではないと思っております

しかし、東大教授等を招いての農家短期大学の実施などこれは、河内村ならではの地理的条件と、村理事者の方々の認識の問題だと思いまして誠にうらやましい限りでした

人口が多いからと言ってしまえばそれまでですが、七つの公民館と立派な方々を得ておられる事も、おそらく、旧役場庁舎の転用等かとも思いますが、かなりの建坪の公民館が実在することも、誠に御同慶の至りに感じた次才でした

しかし、村教毎の行政施策としての、学級や施設は如何に整備されようとも、あと一つの面である民主団体としての社会教育関係団体が確固たる足取りでないならば、村民の人間形成も、村としての社会形成も、跛行状態から破滅の終局へと陥らざるを得ないものとおもっております。当村の青婦団体等社教関係団体の実情を詳細に御教示をねがう時間がなかった儘去りますのでこのことは、心配無用との御叱を受けるなら誠に幸甚です

「いつの日か、近いうちに、河内村へ来ることがあれば、これが三十五年九月半ばの頃の河内村であったか……とおもわれるようになるべく、着々と諸施策が緒につき、実行にうつされております……」とは交流座談会の席での参加者の御言葉でしたが懸案を数限りなくはらんでおられる河内村のようにおみうけしました

到々、はじめに一寸心配でしたが、矢張り、御気に障るような次才になってしまいました。村の広報にのれば、村民の方、わけても村長さんなど理事者の方々のお叱りをうけるような的はずれの雑感だと思います。村長さんはきけば学校の先輩だそうですので先輩というものは、後輩のことに余り、ムキになって怒ったりせぬものだと、私は、勝手にきめておりますので、よろしく御取なし下さい。

研修生一同を御手足まといになりましたにも不拘、御親切に御教導下さいました受入農家の方々へは、特別に宜敷しく御伝声の程をおねがいいたしまして擱筆します。以上

（鳥取県青年研修生）

河内村を訪ねて

農業班長　藤原吉広

今般女子六名を含む、鳥取県青年三十名、国内研修として茨城県に参り、内、農業畜産班各々七名宛、当村で種々御厄介に成ったのであるが、之が感想を示せとの要請を受けたので、各自が感じた事の一端と、鳥取県の様子を、若干書き加へ度いと思う。

先づ才一に、家柄が悪いとされる過去に於ける幾度かの、水害の爪跡と、将来、いつ来るかも知れぬ天災を恐れてかうとも聞くも、近来、あれだけ台所風呂場、便所等の改善がさけばれ、遂次改善されて居るにもかゝわらず、改善が、一ケ所も見れぬは実にさみしい。更に驚いたのは、小便所が悪く適宜路上を便所に使うと、うったえた班員があり一同驚き入る。又、村の有識者と思われる人、改良便所、台所改善に使う金を、直接、生産面に投資した方が良いと聞いた成る程理屈はそうだが、現在の状態で、その様な考へで居られる寛大な心に驚腹する。(敬腹でない)。直接生活の場としての、台所、風呂場を、明るくて気持の良い状態としたら。我々の地方では、既に採光に留意し、モザイック張りで明るく、又、無駄な労力のはぶける、改良された台所、風呂場を持ち、生活の憩の場としている。環境衛生等の観念も、見るべきものがなく、村全体が実にきたない感じがし、これが、百俵以上供出する農家でありこれが、十万俵以上供出すると誇れる農家の又農村の生活かと、異口同音に話したのである。

二番目に、農業経営の考へ方技術に劣りを感じ、我々の研修の場として、不適格であった。広漠たる関東大平野の最中にあり、大利根のゆるやかな流れを見て暮して居る為か極めて大容な人間性である。田圃は湿田ではあるが、早期稲収穫后七ケ月の永い間、雪も降らないのにあそばせておく等、実にもったいない。鳥取県等、如何にして、耕地を合理的に使うかと云う事で、もがいている。早く土地改良を終へ、裏作が出来、年間労働の均分が無され、更には、副業による収益があがる様祈る。

米の供出検査に立ち会った者も居たのだが、「政府に米を売ってやるんだ、いけなければそこらの、ヤミ商人に売るよ」と云う観念が実に強い。粗放な農法と相まって、米質も悪く、したがって、等級も悪い。受検場での、農民の、米つくり(量質)についての研究される事など少い。鳥取は上位等級(一、二等)八五%と全国で一番の成績を収めている裏には、雨が多い等極めて不利な立地条件の中にあって如何にして、この統制の問題が云々されて居る時に、お客様としての消費地に名柄を出すかという事で産米改良に力こぶを入れ、研究工夫する態度がある。又、純米地帯であり乍ら、農協をそだて上げようと云う考へがなく、米の集荷業者も農協を含めて八っと云う鳥取県には想像もつかぬケースである。その他、食生活が悪い。着て居る衣類が旧態依然、言葉が悪い。道路が悪い、更に一期に収穫し供出しようと云う事からか、他村からの、雇用が多い。何んとか、繁閑の調節が為され、二～三戸の共同作業態勢にならないものか。

◎河内小唄◎

一、春の河内はよいところ
　　土堤の桜もほんのり咲いて
　田打しながら花を見る
　　ホンニヨイヨイ　河内村

二、夏の河内はよいところ
　　利根の螢もすいすい燃えて
　恋の灯は消えやらぬ
　　ホンニヨイヨイ　河内村

三、秋の河内はよいところ
　　重い穂首もゆかしく垂れて
　夕餉楽しい今年米
　　ホンニヨイヨイ　河内村

四、冬の河内はよいところ
　　雪も川面にさらさら消えて
　いつも平和な浮寝鳥
　　ホンニヨイヨイ　河内村

GS生

畜産班長　片岡立身

去る十日より十五日間鳥取県農村青年国内研修生畜産班の一員として河内村長竿地区での五日間の自分個人の見地から一～二の感点を記入してみました、先ず茨城県え来る途中列車内で当県民の一人が全般的に茨城県は封建的思想の潜入している土地である事を聞きましたがその通り長竿部落もやはり封建的な家族制度が今だ根広く潜在していると直感致しました。即ち研修生は自主的に労働と研究を目的として県を出発したのですが農繁期でもあり季節的に労力の不足のためかも知りませんが何か季節労務者を迎えた様な感じが受入の人達の中に表現された事は、研修生として目的地でなく米作地帯特有の状況視察と変化したのですが此の事は別問題として、部落の人達は自已を尊重する以上に他人(部落民)の批判の多い事です。此の五日間の中で部落民に依る円満なる風景が一度も見ることの出来なかった事を残念に思っています。裏付をすれば封建性の強い事が証明された様でした。

私の住んでいる地帯では先ず朝の挨拶は部落の皆がするでしよう農繁期であれば収穫に対する作付の反省が各家庭でも道行く村民の中でも肥料の施用方法の違い、薬剤撒布時期等語り合う姿が見られるのですが、此の地帯では米の生産に結び付く代金のことに注目しているのか、収穫量なり施肥に対する反省、部落民の会話姿が見られなかった事は農民として淋しさを感じた次才です。此の長竿部落の批判ばかりですが先ず才一に水田の二毛作化なのですが土地改良を行う場合已々の立場では賛成であっても、集団とか協力に依っての部落の諸問題の解決のためには利已主義的な点があるのではないかと感じ取りました。それは部落総合に依る設備（公民館運営、子供会運営、青年団、婦人会運営）が不完全であったり、日常使用する便所が改善してない状態が多い反面、食生活と娯楽が盛んなのではないかと思われました。青年に対しても吾々が研修集団にて来ている以上夜の一時間の時間でも交流会とか話し合の場が連日持って戴けるものと思っていましたが、開催して戴けなかった事を残念に思います。

今日の農村状態は所得倍増論に依る零細農家の諸問題、貿易の自由化に対する農産生産物の価格変化等、若い世代の人達は話し合う必要性があったのではないかと考えます。稲作地帯であるから稲作関係しか知らない状態では農村の発展はないでしょう。絶ることなく世界情勢（国内、県内町村）政治の動きの問題点を若い我々青年は研究と討議によって正しく勉強して行く事が農民即ち農村の文化的な生活に結びつく立脚をなす生産活動が出来るのではないかと思います、むしろ米作単作地帯であるほど今日の施策である畜産の導入問題等研究し環境に合った畜産導入の為にも青年は研究と話し合をすべきであったと思います。然し水田の乾田化（土地改良）と同時に働く嬉びを部落の人達が味う様になれば此の広い関東平野の地域条件から数多くの収入源となる物産畜産の生産がされる事でしょう。農道の雑草等を利用と改良をすれば数頭の和牛乳牛が飼養出来ると察しました。然し封建的思想の強い部落の改善は当地の重大な問題でしょう、封建性質から脱脚した時部落民の協力と団結の根源の元に青年層は個々の持つ希望達成のために全力が注げるのではないかと考えます、又酪農協同組合が株式化され乳製品の生産を行う状態は都市近郊の特徴を生しているでしょう然し内面を観察すれば飼養管理、搾乳等知識的な点はまだ〳〵勉強しなければ遅れている村であると視ました。酪農も株式化され自已の組合で乳製品生産する基盤ですから自分達もその方法等勉び取らねばならないのです。乳牛導入等も農協なり酪農組合で低利資金援助等伸びる畜産はどし〳〵伸すべきであると思います。又目前の農家支出簿が全般的に記帳がなされてなく次年度の計画等行われていない様に感じました、全般論ですが闇米の多い事は米の統制撤廃を促進し農民の生活安定に不安定な制度を農民自から進んでいる点等は農民の団結なくして今後の農村発展は出来ないと思う時に長竿いや河内村全体でなく全国農村が自覚して協力の元源の基に伸びる事が大切であると感じ取りました。若い人達の幸福の為に働く嬉びが早く此の地方一円に広がり日本有数の農村の発展地となる事を蔭乍祈ります。

批判ばかり書き利点も数々あるのですが自分の観察力不足等も有る事と思いますが宜敷く了承され数年後文明村の声高き時を待っています。

秋分の日と自然観察

九月二十三日は秋分の日です「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日とされ、秋の彼岸の中日で、お墓まいりをする方も多いと思います。この日の前後六日を含む七日間、仏教では、波羅密多といって、迷いの彼岸に対し悟りの境、弥陀の浄土をさす。とし、この間に彼岸かな…弥陀の浄土に至るを願い、めい福を祈る法会が行なわれます。これは平安時代以後から行なわれ日本仏教独特の国民的行事になっています。

この日は、また、昼夜の長さが等しくなる日でもあります。残暑も薄らぎ、夏から秋へかけての移り変りが、尾花にそよぐ風の音にも、著しく目立つようになってきます。

このように、私たちの周囲は刻々変化してきますが、とくに動物の変化は、お子さん方の観察材料としてもっともよいと思います。

この機会を見逃すことなく、自然の変化に興味をもたせてこのような現象に注意し、研究するようみちびきたいものです。

△あとがき▽

今月は鳥取県研修生の感想文を三人のリーダーの方に書いていたゞき、掲載して見ました、青年らしい率直な意見をわれわれも率直に受け入れ、河内村の実体を遠く離れて見てみましょう。

金江津新島地区の「農家の月給制」について、各地区より内容を紹介してくれとの要望がありましたが、来月号より数回に分けて、連載する事に致しました。

尚拠出制国民年金制度には未だ幾多の問題点があるようでございますので、もっとも身近かな論点を二～三のせて見ました。詳細については、のち程係より、各戸毎に論点についてのチラシを配布する事になっております。